



SDGs全国フォーラム長野2020  
分化会②

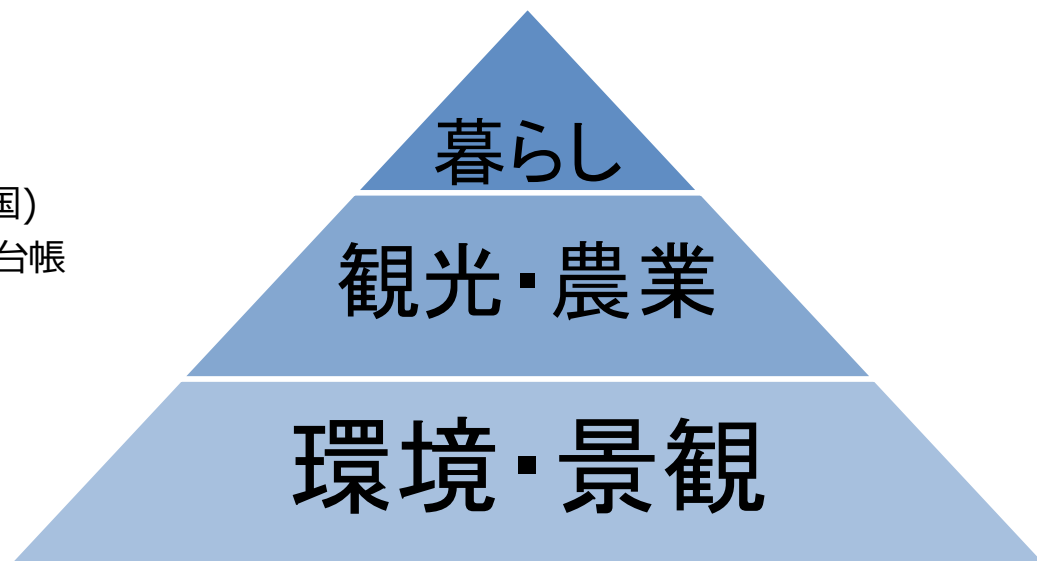
# 気候変動に立ち向かう 戦略とアクション

ニセコ町長 片山 健也



# ニセコ町の概要

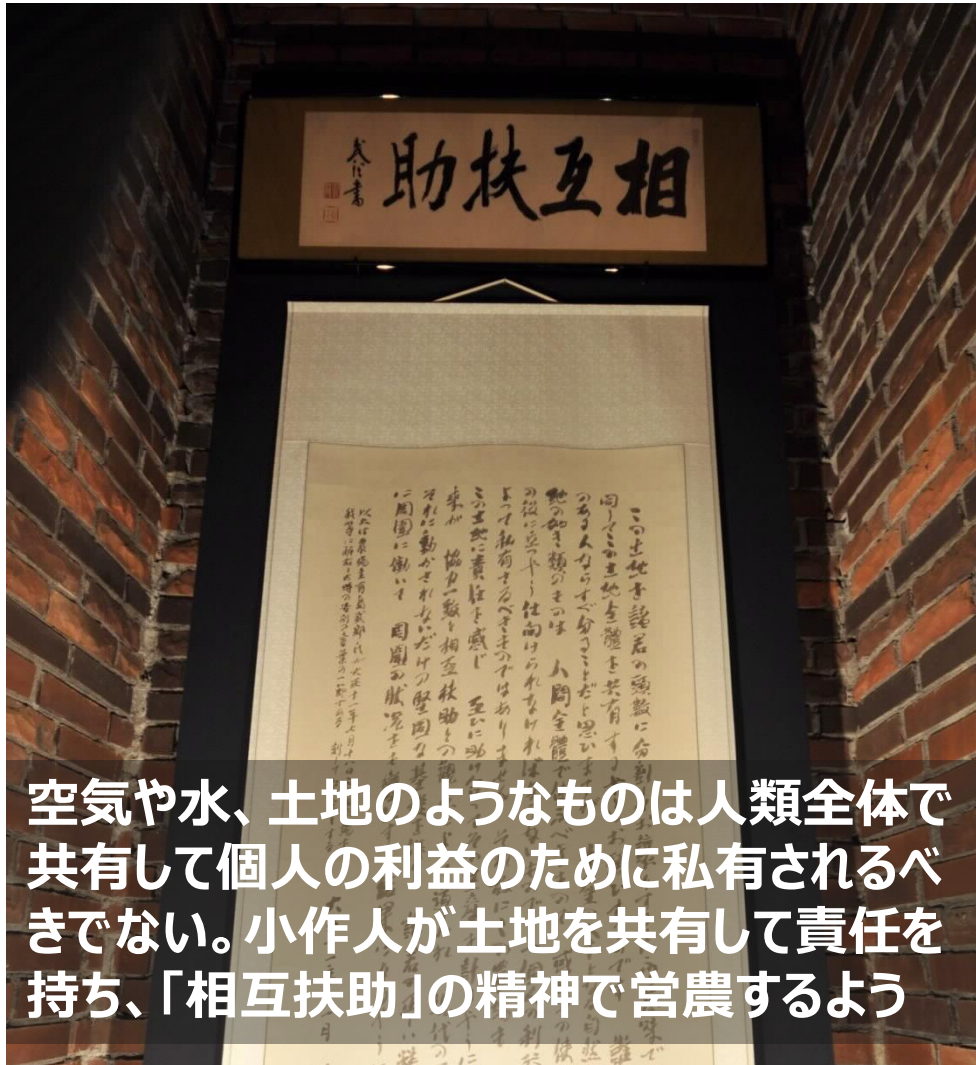
人口：4,958人(うち外国人住民**284**人、35か国)  
世帯：2,546世帯 ※2020年7月末住民基本台帳  
面積：197.13km<sup>2</sup>  
高齢化率：26.2%  
議員数：10名、職員数93人(特別職除く)





# 白樺派の文豪 有島武郎 の遺訓

## 「相互扶助」



空気や水、土地のようなものは人類全体で共有して個人の利益のために私有されるべきでない。小作人が土地を共有して責任を持ち、「相互扶助」の精神で営農するよう



1878年3月4日、旧薩摩藩郷士で大蔵官僚の有島武の長男として東京小石川に生まれる  
1903年渡米し、ハーバード大学などで学び、西洋哲学の影響を受ける

1922年7月18日、土地共有による有島農場の無償解放を宣言し、当時の社会にさまざまな反響を呼んだ

# 「相互扶助」

は

ニセコ町のまちづくりの根源

そして、まちづくり基本条例へ

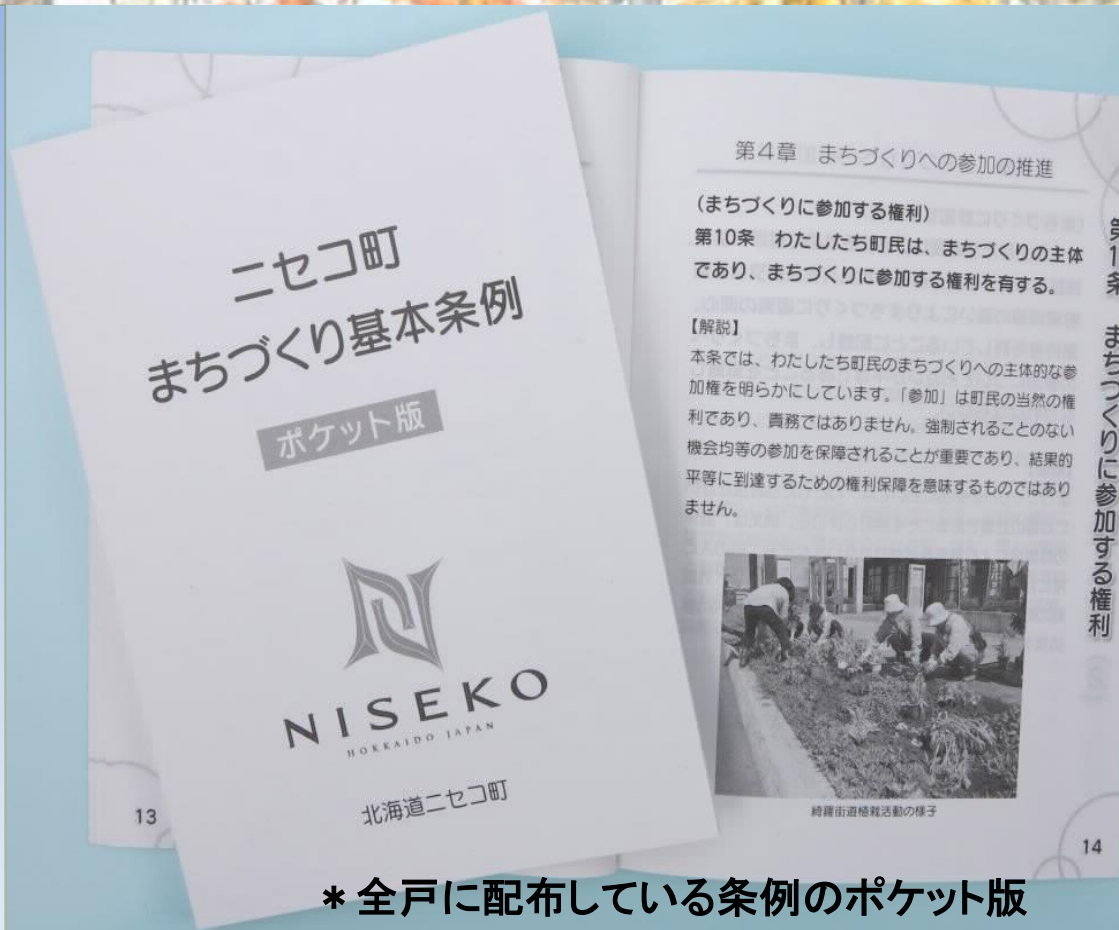
# わたしたちのまちの憲法

## 住民自治・公正なまちづくりのツール

情報共有

住民参加

まちづくり基本条例に結実



\* 全戸に配布している条例のポケット版



# 住民参加と情報共有の実践例

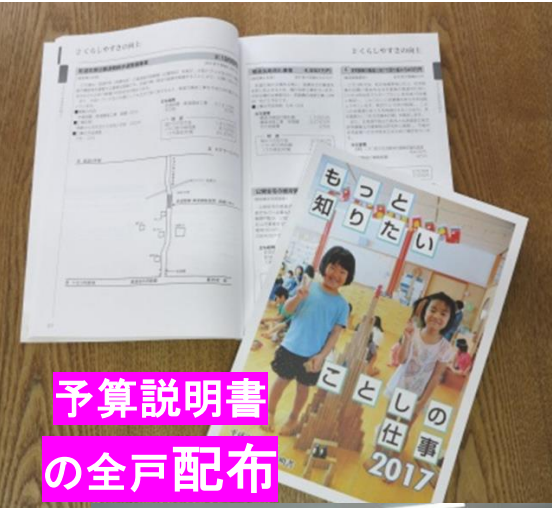
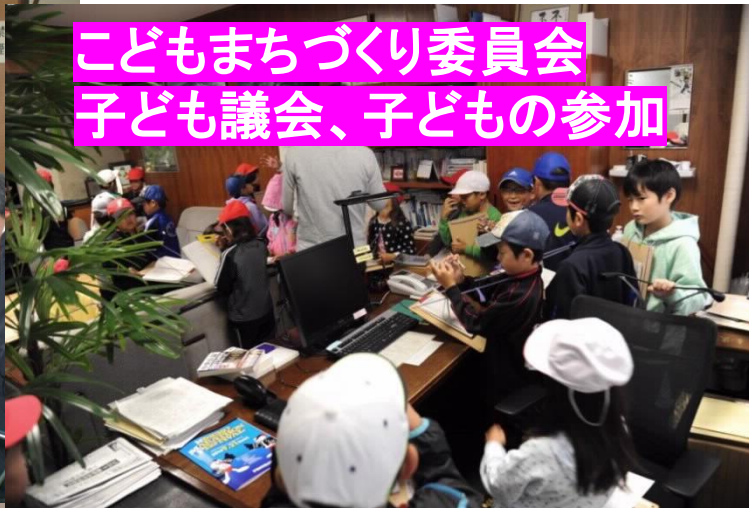
2001年、全国初の自治基本条例「ニセコ町まちづくり基本条例」を制定し、住民参加と情報共有によるまちづくりを徹底、実践

会議は原則全て公開



予算ヒヤリングの様子

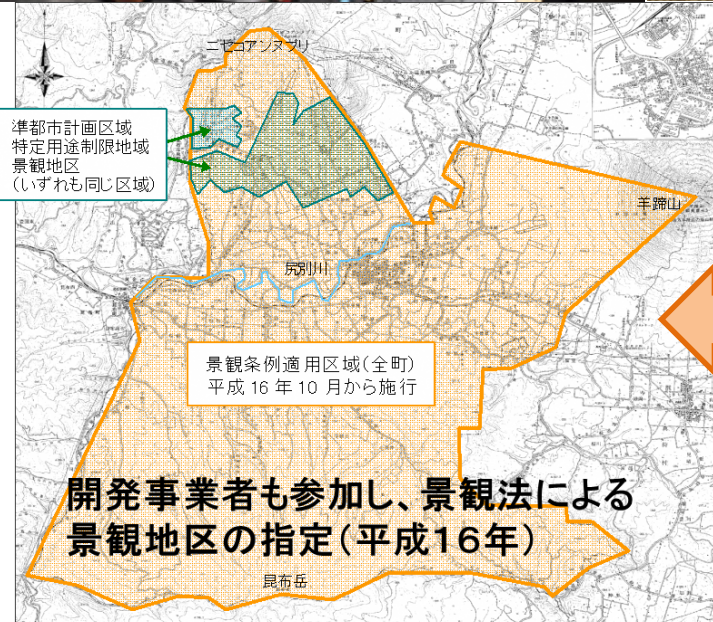
こどもまちづくり委員会  
子ども議会、子どもの参加



予算説明書の  
全戸配布

147回まちづくり町民講座

外国人の皆さんとまちづくり議論

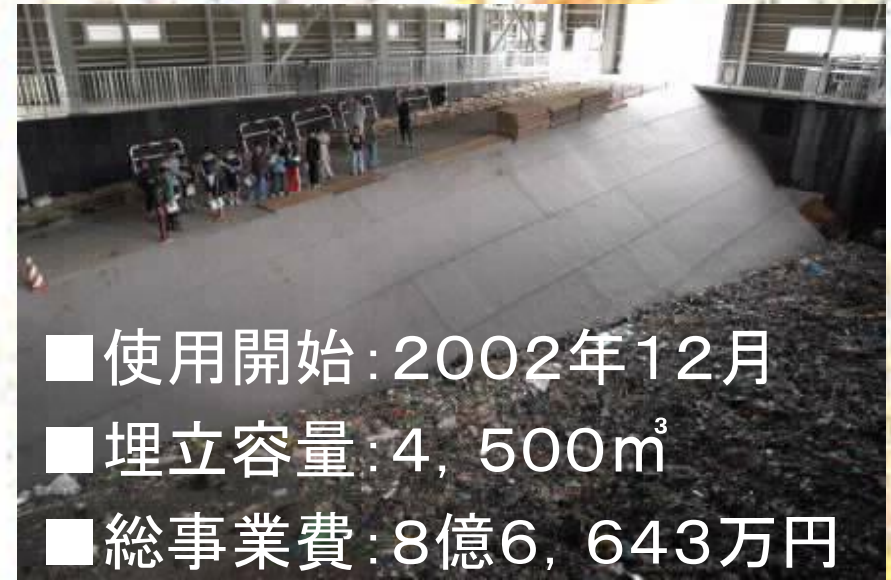
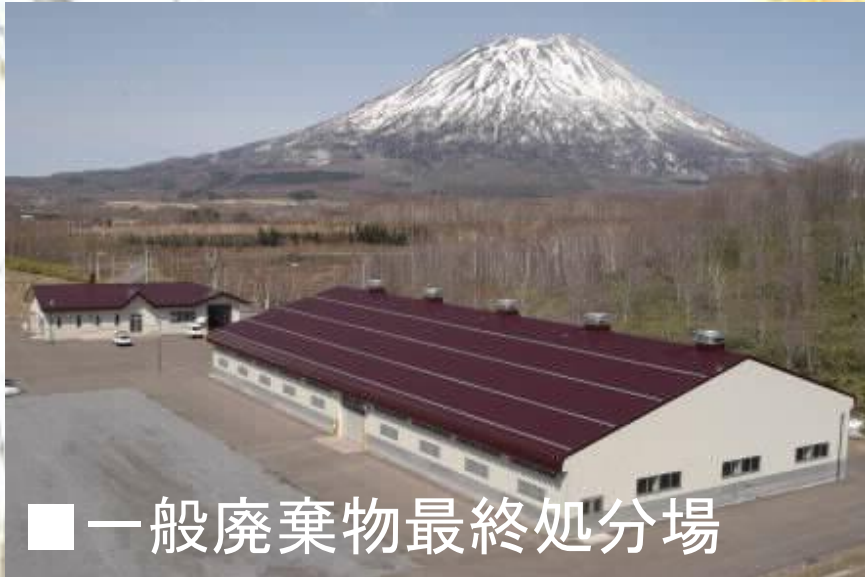


開発事業者も参加し、景観法による  
景観地区の指定(平成16年)





# 忌避施設(ごみ処理施設)の住民参加



○徹底した話し合い・・・

○激しい反対運動

○条件取引・利益誘導無し

○クローズド型(水処理費用の削減、環境負荷低減)

○リサイクル率 7% ⇒ 93%へ

町内の生ごみ（家庭・ホテル）全量堆肥化  
+ 家畜糞尿、下水道汚泥 ⇒ 堆肥化







雪を利用した  
減農薬クリー  
ン米の倉庫

冬季の北風を利用した低温倉庫  
断熱は土、安価な省エネ倉庫

# ニセコ町の環境政策 ⇒ SDGs未来都市へ

まちづくり基本条例 2001年（H13年4月施行）  
環境基本条例 2004年（H16年4月施行）  
景観条例 2004年（H16年10月施行）  
地下水保全条例、水道水源保護条例 2011年（H23年5月施行）

第5次ニセコ町総合計画  
『環境創造都市ニセコ』  
2012～（H24～35年度）

第4次ニセコ町総合計画（2002～）  
『小さな世界都市』（H14～23年度）

SDGs未来都市 2018年  
SDGsモデル事業

第2次環境基本計画（H24～H35）  
「水環境のまちニセコ」水循環の保全を基盤に、物質循環の保全と合わせて地域生活文化を守り育てる

地域新エネルギービジョン（H15）  
地域省エネルギービジョン（H16）  
地域省エネルギービジョン重点テーマ（H18）

観光振興計画（H21～H30）  
環境との調和、地域内経済活性化 など

農業振興計画（H26～H30）  
地域循環型クリーン農業、地産地消、観光との連携 など

地球温暖化対策実行計画  
（区域施策編）

1990年度比CO<sub>2</sub>排出量

2016年度までに 7%削減  
2020年度までに30%削減

2050年度までに**86%削減**

2014年（H26年）『環境モデル都市』  
2015年（H27年）『プラチナシティ』



# 国際化するニセコ

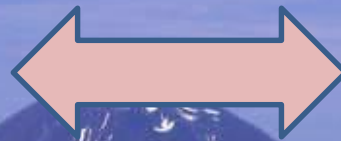
## 北海道インターナショナルスクールニセコ校の開校



# ニセコ町の住民自治の実践 相互扶助

## ニセコ町のまちづくり

- 情報共有・住民参加による自治の実現
- 小さな世界都市ニセコ（第4次総合計画）
- 環境創造都市ニセコ（第5次総合計画）
- 水を守る「環境基本計画」
- 地下水保全・水源保護
- 資源・経済・エネルギーの循環
- 地域経済循環の強化
- 景観条例
- 多様な社会 etc



高い  
親和性



**SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS**

2030年に向けて  
世界が合意した  
「持続可能な開発目標」です

平成30年（2018年）6月、SDGs未来都市（全国29自治体）、自治体SDGsモデル事業（全国10自治体）に選定。 12



**「多様性」**

**が**

**ニセコ町の価値**

# NISEKO生活モデル地区への挑戦

## 【概要】

- ◆市街地約 9 haの土地に、NISEKO生活を象徴する生活空間を形成する
- ◆単なる分譲地ではなく、生活形態まで設計された地域
- ◆集合・賃貸住宅など様々な住宅群を形成
- ◆開発コンセプトを町や地域が事前にコントロール

## 【モデル地区の特徴】

- ◆本町の基準により、高断熱・高気密住宅群の義務化
- ◆町外流出していたエネルギーコスト（電気・灯油）を削減し、その分を住宅性能向上（地元工務店受注）、個人資産形成にあて、域内循環を向上
- ◆子どもから高齢者、高所得から低所得者まで 政策的に混住させる（防犯・住民自治に効果）
- ◆景観に配慮された住宅群の形成（電線地中化）
- ◆地域運営組織など活発な自治活動を推進
- ◆省エネのほか、エネルギー源の検討
- ◆**学びながら進化する計画**
- ◆**官民連携の事業主体となるまちづくり会社を設立**



# 官民連携の事業主体

○町の課題を解決する政策的一面と同時  
時に民間主導による事業性を重視

○街区事業に限らず、地域エネルギー  
事業も担い、持続可能なまちニセコ町  
の価値を高める取組を進める

○町の取組を他地域でも展開し、世界  
に発信していく組織

町長 高橋 守

## まちづくり会社始動！ 株式会社ニセコまち 設立



7月3日、町民センターで「株式会社ニセコまち」の設立総会が開催されました。代表取締役の高橋守さんをはじめ、発起人であるニセコ町長、町内の建設会社、工務店、電気工事店のみなさんが出席し、法人の設立、定款などについて、全会一致で可決しました。今月号では、この会社の事業内容や会社概要について紹介します。

■同合せ/企画環境課  
まちづくり会社準備係  
担当＝宮坂・山本



「地域エネルギー事業」は、地域エネルギー会社がモデル街区や筒賀乃湯周辺、新庁舎周辺の公共施設にエネルギーを供給し、地域から流出していったエネルギー費用を地域内に押しとどめることによつ

### なぜ会社を設立したの？

ニセコ町が目指す持続可能なまちづくりの実現には、新たな主体が必要で、この中核となる事業が「NISEKO生活・モデル事業」と「地域エネルギー事業」です。

NISEKO生活・モデル事業は、住宅不足を背景に市街地に新たな「街区」まちを構築する事業ですが、一般的な土地開発とは違い、まったく新しいコンセプトのもと、検討を進めてきました。

1. ニセコ町が世界に誇る持

この企業理念に沿って、大きく次の2つのビジョンを掲げています。

《企業理念》  
当会社は、広く世界を視座にしつつ、ニセコ町における環境、経済及び社会の課題解決を使命として自覚し、住むことが誇りに思える持続可能なまちづくりに挑戦し、実現することを目指す。

株式会社ニセコまちは定款で企業理念を左記のように定めています。

### どんなビジョンを掲げているの？

て、未来に向かって長期的に地域をより豊かにしていくことを目指すものです。  
これらを実現していくには、公共性と民間事業性のバランスがとれており、地域に寄り添って柔軟かつ力強い対策ができる地域資本の会社が必要で、まちづくり会社は、街区開発とエネルギー事業を両輪に持続可能なまちづくりに挑戦します。

- ・ 持続可能なまちとして、価値を高めるべく
- ・ 土地の開発から高性能住宅の建築および不動産の管理、中長期的にまちの不動産価値を高めていく
- ・ エネルギーの分野から、地域内経済循環を強化し、環境にも配慮され、地域にもお金が落ちる仕組みを構築する
- ・ 町と地域の事業者が中心となり、持続可能な会社は経営、自治運営を展開し、町を支える会社へ
- 2. 北海道や日本における先進事例、SDG Sモデル都市NISEKOへ
- ・ 観光リゾートタウンとしてだけでなく、先進的な取り組みが道内外、世界からも注目を集める
- ・ NISEKOモデルが道内、国内、世界へと広がり、他地域から視察や研修があつたを絶たない状態を目指す
- ・ 観光業のみならず、まちづくり、エネルギーといった分野における実践的な教育の場を提供する





**SDGs街区イメージ図**



# 省エネの新庁舎整備中



役場庁舎 (S42、1967年建設)  
R3、2021年～新庁舎利用開始  
自立・分散型エネルギーシステム  
外皮平均熱還流率(UA値)0.18

イメージ図



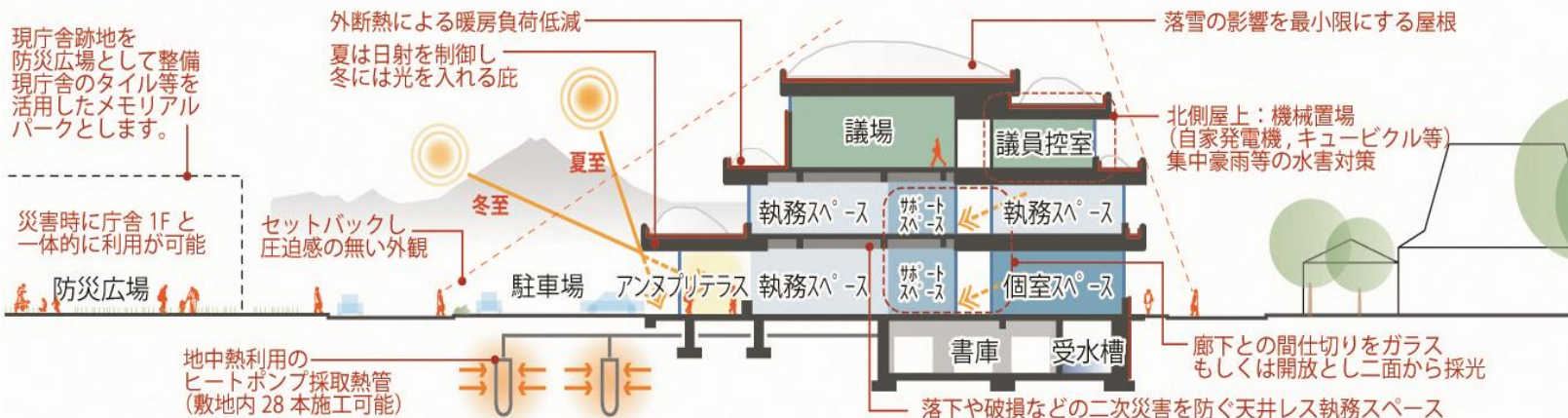
7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに



8 働きがいも  
経済成長も



11 住み続けられる  
まちづくりを



# SDGs未来都市ニセコ町の挑戦

世界首長誓約署名

2050年CO2 86%削減

ゼロカーボン宣言

気候非常事態宣言

SDGs街区整備

地産・エネルギー・経済の域内循環

気候変動適応策の推進

まちづくりの多様な主体

自ら考え行動する住民自治のまち